

日本史

1 次の文章A～Cは、「戦いの歴史」について発表することになった高校生の聡介が準備した発表原稿である。この文章を読み、下の問い（問1～10）に答えよ。（配点 20）

A これから「戦いの歴史」について、時代順に発表します。弥生時代には、水利や余剰生産物などをめぐって集落間で争いが起きました。矢じりである **a** が縄文時代と比べて大きくなり、それが刺さった跡がある人骨も発見されています。ヤマト政権では、**④豪族間の争いや天皇が暗殺される事態などが起こり、次第に蘇我氏が専横的な政治を行うようになりました。**しかし蘇我氏は **b** らによって乙巳の変で打倒されました。

支配領域の拡大をめざすなかで、課題となったのが蝦夷の存在です。**①朝廷は長期にわたり蝦夷と戦闘を繰り返して、平安時代になって平定しました。**10世紀以降、武装勢力により地方での争乱が多発したので、朝廷は軍事貴族を**③各地の反乱**の鎮圧に用いました。

問1 空欄 **a** **b** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。 **1**

- ① a 石匙 b 中大兄皇子
- ② a 石匙 b 大津皇子
- ③ a 石鏃 b 中大兄皇子
- ④ a 石鏃 b 大津皇子

問2 下線部②に関して述べた次の文甲・乙と、それに該当する語句a～dとの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。 **2**

甲 この人物は、蘇我馬子によって滅ぼされた。  
乙 この天皇は、蘇我馬子によって暗殺された。

- a 物部守屋 b 物部尾輿
- c 崇峻天皇 d 欽明天皇

- ① 甲 a 乙 c ② 甲 a 乙 d
- ③ 甲 b 乙 c ④ 甲 b 乙 d

問3 下線部③について述べた次の文I～IIIを、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選び、記号で答えよ。 **3**

I 征夷大將軍の坂上田村麻呂が、阿弭流為を帰順させた。  
II 伊治咎麻呂が反乱を起こし、一時は多賀城を陥落させた。  
III 日本海側に、淳足柵や磐舟柵が設けられた。

- ① I—II—III ② I—III—II ③ II—I—III
- ④ II—III—I ⑤ III—I—II ⑥ III—II—I

問4 下線部④に関連して、平安時代の武士や戦乱について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。 **4**

- ① 朝廷は、地方の治安維持を担当する追捕使や押領使を任命した。
- ② 有力な武士は、東北地方を警備する滝口の武者に採用された。
- ③ 藤原純友は、関東一帯を占領して新皇と自称した。
- ④ 源経基は、房総半島で起こった平忠常の乱を鎮圧した。

B 次に、中世の戦いについて発表します。鎌倉時代に起こった戦乱のうち、特に注目すべきだと思うのは**①承久の乱**です。この戦乱の結果、幕府は朝廷に対して優位に立つようになりました。室町時代になると、幕府は朝廷の持っていた権限を吸収し、幕府の権力を確立しました。室町幕府は、有力な守護を抑える政策をとり、時には**③戦乱を誘発して勢力を削ぐ**こともありました。

近世には、織田信長の統一事業を引き継いだ豊臣秀吉が、強大な軍事力などを背景に統一を成し遂げました。秀吉の死後、江戸幕府を開いた徳川家康は、依然として威信を保つ豊臣氏を倒すため、**①大坂の陣**を起こしました。

問5 下線部④について述べた次の文X・Yの正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。 **5**

X 北条政子の呼びかけに応じて、東国の武士らが結集した。  
Y 乱後、朝廷の監視にあたらせるために鎮西探題がおかれた。

- ① X 正 Y 正 ② X 正 Y 誤
- ③ X 誤 Y 正 ④ X 誤 Y 誤

問6 下線部⑤に関連して、室町時代の戦乱に関して述べた次の文a～dについて、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。 **6**

- a 享徳の乱によって、土岐康行が滅ぼされた。
- b 応永の乱によって、大内義弘が滅ぼされた。
- c 応仁の乱において、山名氏清が西軍の大將となった。
- d 応仁の乱により、京都の公家や文化人らが地方に移り住んだ。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

問7 下線部⑥について述べた次の文X・Yの正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。 **7**

X この戦乱は、方広寺の鐘銘を口実起こされた。  
Y この戦乱で、豊臣秀頼が滅ぼされた。

- ① X 正 Y 正 ② X 正 Y 誤
- ③ X 誤 Y 正 ④ X 誤 Y 誤

C 最後に、近現代の戦いについて発表します。明治政府は、発足当初よりさまざまな改革を実施していきました。そして、その過程で反発を強めた士族による反乱が起きました。これに対し、㉕大久保利通は事態の收拾にあたりました。そして、徴兵制に基づく軍隊が反乱を鎮圧していきました。西郷隆盛を中心として起こった [ c ] でも政府側が勝利し、士族の反乱は終焉を迎えました。

一方、明治時代中期以降、日本は対外戦争を経験しました。なかでも、[ d ] が反戦詩の「君死にたまふこと勿れ」を発表したことで知られる日露戦争の意義は大きいものでした。この戦争では、アジア諸国が初めて西欧諸国に勝利しました。日本は日露戦争以降も戦争を行いましたが、太平洋戦争で敗れ、軍隊は解体されました。やがて、連合国(軍)最高司令官総司令部(GHQ)は日本に再軍備を指示し、現在の㉖自衛隊のルーツである組織が成立しました。

問8 空欄 [ c ] [ d ] に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。 [ 8 ]

- ① c 敬神党(神風連)の反乱 d 与謝野晶子
- ② c 敬神党(神風連)の反乱 d 山川菊栄
- ③ c 西南戦争 d 与謝野晶子
- ④ c 西南戦争 d 山川菊栄

問9 下線部㉔について述べた次の文甲・乙と、それに該当する語句 a～d との組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。 [ 9 ]

甲 大久保利通は、この省庁の初代長官に就任した。  
乙 大久保利通は、この出来事で暗殺された。

- a 内務省 b 工部省
- c 紀尾井坂の変 d 明治六年の政変

- ① 甲 a 乙 c ② 甲 a 乙 d
- ③ 甲 b 乙 c ④ 甲 b 乙 d

問10 下線部㉑の海外派遣を可能にした国連平和維持活動(PKO)協力が制定されたときの首相として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。 [ 10 ]

- ① 宮沢喜一 ② 吉田茂 ③ 鳩山一郎 ④ 田中角栄

2 原始～古代の外交に関する次のA・Bをみて、下の問い(問1～10)に答えよ。(配点 18)

年	出来事
57	奴国の王が印綬を賜る
107	倭国王 [ a ] 等が遣使して生口を献上する
239	卑弥呼が魏に使者を派遣する
478	㉑倭王武が遣使して上表文を提出する
602	百済の僧である [ b ] が暦法を伝える
607	㉒推古天皇の治世に小野妹子が隋に派遣される
630	㉓第1回遣唐使が派遣される
663	㉔白村江の戦いが起こる

問1 空欄 [ a ] [ b ] に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。 [ 11 ]

- ① a 耄与(台与) b 観勒
- ② a 耄与(台与) b 曇徴
- ③ a 帥升 b 観勒
- ④ a 帥升 b 曇徴

問2 下線部㉑に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。 [ 12 ]

- a このとき倭王武は、中国北朝に使者を派遣した。
- b このとき倭王武は、中国南朝に使者を派遣した。
- c 倭王武は、欽明天皇に比定されている。
- d 倭王武は、雄略天皇に比定されている。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

問3 下線部㉑に関連して、推古天皇の時代の政策や外交について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。 [ 13 ]

- ① 冠位十二階が制定され、氏族ごとに冠位が授けられた。
- ② 憲法十七条が定められ、役人としての心得などが説かれた。
- ③ 小野妹子が持参した国書には、皇帝に臣属する姿勢が示されていた。
- ④ 国書を受け取った光武帝は、その内容に不満を示した。

問4 下線部㉑について述べた次の文 X・Y の正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。 [ 14 ]

- X このとき、大上御田原が派遣された。
- Y このとき、東シナ海を横断する北路がとられた。

- ① X 正 Y 正 ② X 正 Y 誤
- ③ X 誤 Y 正 ④ X 誤 Y 誤

問5 下線部㉑の後の措置について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。 [ 15 ]

- ① 都が琵琶湖近くの近江大津宮に移された。
- ② 九州の要地を守る水城が設けられた。
- ③ 対馬から大和にかけて朝鮮式山城が築かれた。
- ④ 九州地方に衛士がおかれた。

B

年	出来事
754	大伴古麻呂が㊸鑑真をともない入京する
759	㊹藤原仲麻呂が新羅攻撃を計画する
779	㊺新羅使が来日する
894	□ c □ が遣唐使の派遣停止を建議する
919	最後の渤海使が来日する
926	□ d □ が渤海を滅ぼす
1019	㊻刀伊の来襲が起こる

問6 空欄□ c □ □ d □に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。□ 16 □

- ① c 菅原道真      d 契丹（遼）
- ② c 菅原道真      d 高麗
- ③ c 三善清行      d 契丹（遼）
- ④ c 三善清行      d 高麗

問7 下線部㊸が創建した寺院として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。□ 17 □

- ① 飛鳥寺      ② 唐招提寺      ③ 薬師寺      ④ 室生寺

問8 下線部㊹について述べた次の文甲・乙と、それに該当する語句 a～d との組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。□ 18 □

甲 藤原仲麻呂は、この律令を施行した。  
乙 藤原仲麻呂は、この天皇から惠美押勝の名を賜った。

- a 大宝律令      b 養老律令
- c 淳仁天皇      d 光仁天皇

- ① 甲 a    乙 c      ② 甲 a    乙 d
- ③ 甲 b    乙 c      ④ 甲 b    乙 d

問9 下線部㊺に関連して、奈良時代の日本と新羅について述べた次の文 X・Y の正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。□ 19 □

X 日本は新羅使を応接するために、松原客院・能登客院を設けた。  
Y 日本は新羅を従属国として扱おうとしたため、両国間で緊張が生じることがあった。

- ① X 正    Y 正      ② X 正    Y 誤
- ③ X 誤    Y 正      ④ X 誤    Y 誤

問10 下線部㊻について述べた次の文 X・Y の正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。□ 20 □

X 刀伊とよばれる女真人が、九州北部に来襲した。  
Y 大宰権帥の藤原隆家が、武士を統率して撃退した。

- ① X 正    Y 正      ② X 正    Y 誤
- ③ X 誤    Y 正      ④ X 誤    Y 誤

3 中世の社会・経済に関連する下の問い(問1～10)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)

(配点 20)

問1 院政期の社会について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。□ 21 □

- ① 朝廷が上級貴族らに一国の支配権を認める、知行国の制度が広がった。
- ② 土倉とよばれる運送業者が、活発に活動した。
- ③ 鳥羽上皇が皇女に伝えた荘園群である、長講堂領が形成された。
- ④ 阿仏尼が、紀行文である『十六夜日記』を著した。

問2 鎌倉時代の女性について述べた次の文 X・Y の正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。□ 22 □

X 女性のなかにも、地頭になる者がいた。  
Y 鎌倉時代後期には、女性の所領相続は一期分が多くなった。

- ① X 正    Y 正      ② X 正    Y 誤
- ③ X 誤    Y 正      ④ X 誤    Y 誤

問3 次の鎌倉時代の史料について述べた下の文 a～d について、正しいものの組合せを、あとの①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。□ 23 □

諸国の百姓、田稲を刈り取るの後、其の跡に麦を蒔く。田麦と号して、領主等、件の麦の所当を徴取すと云々。租税の法、豈然るべけんや。自今以後、田麦の所当を取るべからず。宜しく農民の依怙たるべし。此の旨を存じ、備後・備前両国の御家人等に下知せしむべきの状、仰せに依て執達件の如し。  
(『新編追加』)

- a 史料から、年貢の銭納が行われていたことがうかがえる。
- b 史料から、二毛作が行われていたことがうかがえる。
- c 史料の内容について、現在の中国地方にある国の御家人らに伝達することが命じられている。
- d 史料の内容について、現在の北陸地方にある国の御家人らに伝達することが命じられている。

- ① a・c      ② a・d      ③ b・c      ④ b・d

問4 鎌倉時代の武士について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。□ 24 □

- ① 戦時には、氏長者が庶子を率いて合戦に参加した。
- ② 流鏑馬・巻狩・犬追物という騎射三物が盛んに行われた。
- ③ 武士は館を構え、その周辺部に佃などとよばれる直営地を設定した。
- ④ 単独相続が一般的であったが、次第に分割相続へ移行した。

問5 鎌倉時代の経済について述べた次の文甲・乙と、それに該当する語句 a～d との組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。 25

甲 これは、草葉を地中に埋めて発酵させた肥料である。  
乙 これは、京都などの都市にみられた常設の小売店である。

- a 下肥      b 刈敷  
c 座          d 見世棚

- ① 甲 a    乙 c      ② 甲 a    乙 d  
③ 甲 b    乙 c      ④ 甲 b    乙 d

問6 惣村について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。 26

- ① 寄合という村民の会議の決定に基づいて運営された。  
② 村民自ら警察権を行使する下地中分が行われることがあった。  
③ 惣村が一括して年貢納入などを請け負う地下請がみられた。  
④ 官座とよばれる集団が惣村の結合の中核をなした。

問7 室町時代の農業について述べた次の文 X・Y の正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。 27

X 水稻の品種改良が進み、早稲・中稲・晩稲が作付けされた。  
Y 灯油の原料となる、楮などの栽培が盛んになった。

- ① X 正    Y 正      ② X 正    Y 誤  
③ X 誤    Y 正      ④ X 誤    Y 誤

問8 室町時代の商工業について述べた次の文甲・乙と、それに該当する語句 a～d との組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。 28

甲 これは、応仁の乱後に一般化した定期市である。  
乙 これは、鐘や鍋釜をつくる技術者である。

- a 三斎市      b 六斎市  
c 鋳物師      d 鍛冶

- ① 甲 a    乙 c      ② 甲 a    乙 d  
③ 甲 b    乙 c      ④ 甲 b    乙 d

問9 室町時代の貨幣経済について述べた次の文 X・Y の正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。 29

X 貨幣需要の高まりを受け、寛永通宝が鑄造された。  
Y 幕府は、円滑な商取引のために撰銭令を發布した。

- ① X 正    Y 正      ② X 正    Y 誤  
③ X 誤    Y 正      ④ X 誤    Y 誤

問10 門前町に分類される都市として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。 30

- ① 長野      ② 富田林      ③ 坊津      ④ 春日山

4 「近世の外交や政治」をテーマに、班ごとに調べ学習をした際の調査結果をまとめた次の A～C 班のメモを読み、下の問い（問1～10）に答えよ。 (配点 20)

A 班のメモ

- 1543 年頃にポルトガル人を乗せた中国船が a に来航した。  
→ ① ポルトガルとの貿易が始まり、その後スペインも加わった。  
■ 貿易を行う商人だけでなく ② 宣教師もあいついで来日し、貿易の利益を得る目的もあって入信する大名も現れた。  
■ キリシタン大名の大村純忠が b をイエズス会に寄付した。  
→ その事実を知った豊臣秀吉は、バテレン追放令を發布した。  
■ 天下統一後に ③ 2 度にわたる朝鮮侵略を行った。

問1 空欄 a b に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。 31

- ① a 志賀島    b 長崎  
② a 志賀島    b 堺  
③ a 種子島    b 長崎  
④ a 種子島    b 堺

問2 下線部 ① に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。 32

- a ポルトガル人やスペイン人は紅毛人とよばれた。  
b ポルトガル人やスペイン人は南蛮人とよばれた。  
c 日本から銀が大量に輸出された。  
d 日本へ銀が大量に輸入された。

- ① a・c      ② a・d      ③ b・c      ④ b・d

問3 下線部 ② に関して述べた次の文甲・乙と、それに該当する語句 a～d との組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。 33

甲 これは、イエズス会がつくった宣教師の養成学校である。  
乙 この人物は、天正遣欧使節の派遣を勧めた。

- a コレジオ                      b 南蛮寺  
c ルイス=フロイス              d ヴァリニャーノ

- ① 甲 a    乙 c      ② 甲 a    乙 d  
③ 甲 b    乙 c      ④ 甲 b    乙 d

問4 下線部 ③ に関して述べた次の文 X・Y の正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。 34

X 豊臣秀吉は、出兵に際して名護屋城を築いた。  
Y 慶長の役において、日本軍は豊臣秀吉が死去すると撤退した。

- ① X 正    Y 正      ② X 正    Y 誤  
③ X 誤    Y 正      ④ X 誤    Y 誤

B 班のメモ

<江戸時代初期の交流>

■徳川家康は新たな国との交流をはかり、スペイン領のメキシコとの通商も求めた。

■朱印船貿易が奨励され、東南アジア各地に **c** が形成された。

<鎖国体制の形成>

■④幕府はキリスト教勢力の拡大や西国大名の富強化を警戒して、キリスト教の布教と対外貿易の統制を強めていった。

→ **d** 後に鎖国体制が確立した。

→その後もいわゆる「**㊤**四つの窓口」で貿易や交流が行われた。

問 5 空欄 **c** **d** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。 **35**

- ① c 日本町 d 大塩の乱
- ② c 日本町 d 島原の乱
- ③ c 倭館 d 大塩の乱
- ④ c 倭館 d 島原の乱

問 6 下線部④に関して述べた次の文 I～III を、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選び、記号で答えよ。 **36**

- I 幕府は直轄領に禁教令を発した。
- II 幕府はスペイン船の来航を禁止した。
- III 幕府は奉書船以外の海外渡航を禁止した。

- ① I—II—III      ② I—III—II      ③ II—I—III
- ④ II—III—I      ⑤ III—I—II      ⑥ III—II—I

問 7 下線部㉔に関連して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。 **37**

- ① 場所請負制度により、松前氏の家臣がアイヌと直接交易した。
- ② 対馬の宗氏を介して、朝鮮から慶賀使などが来日した。
- ③ オランダ風説書は、幕府が海外情報を入手する手段の一つであった。
- ④ 琉球王国は島津氏に征服された後、中国との貿易が禁止された。

C 班のメモ

<列強の接近と幕府の対応>

■享保の改革の時期に漢訳洋書の輸入制限が緩和された。

→西洋の知識や技術が流入し、④西洋画の技法を用いた**絵画**が描かれるようになった。

■ロシア使節のラクスマンが通商を求めて来航した。

→⑤これ以降も列強の船が接近し、幕府も蝦夷地調査など対策を行った。

■19世紀半ばに⑥アヘン戦争が勃発し、幕府の対外政策を転換させた。

問 8 下線部④に関して述べた次の文甲・乙と、それに該当する語句 a～d との組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。 **38**

- 甲 この人物は、油絵の「西洋婦人図」を描いた。
- 乙 この人物は、銅版画の作品である「不忍池図」を制作した。

- a 稲村三伯      b 平賀源内
- c 鈴木春信      d 司馬江漢

- ① 甲 a    乙 c      ② 甲 a    乙 d
- ③ 甲 b    乙 c      ④ 甲 b    乙 d

問 9 下線部⑧に関連して、列強の接近や北方探査に関して述べた次の文 X・Y の正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。 **39**

- X サン=フェリペ号が長崎湾に侵入し、狼藉を働く事件が起こった。
- Y 伊能忠敬は、樺太と大陸の間に海峡があることを確認した。

- ① X 正    Y 正      ② X 正    Y 誤
- ③ X 誤    Y 正      ④ X 誤    Y 誤

問 10 下線部⑨に関連して、アヘン戦争や、その知らせを聞いた幕府の対応に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。 **40**

- a アヘン戦争の結果、香港島がイギリスに割譲された。
- b アヘン戦争の結果、遼東半島がイギリスに割譲された。
- c 幕府は異国船打払令を改め、天保の薪水給与令を発した。
- d 幕府は薪水給与令を改め、異国船打払令を発した。

- ① a・c      ② a・d      ③ b・c      ④ b・d

5 近現代の社会や経済について述べた次の文章A～Cを読み、下の問い(問1～10)に答えよ。(配点 22)

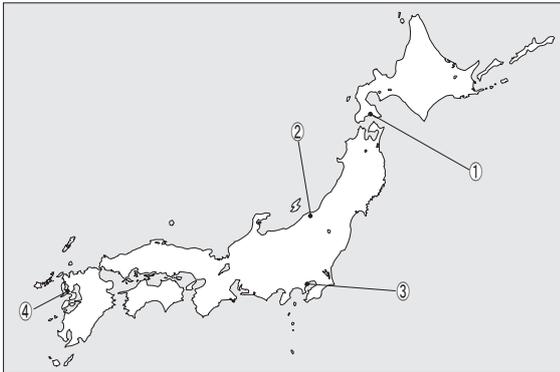
A 幕末期に欧米諸国との間で通商条約が結ばれ、⑧1859年から貿易が始まった。在郷商人が各地から開港場向けの商品を大量に買い付けたことで、日本国内では品不足が起こった。そこで、幕府は a を定めて対処しようとしたが、効果はあがらなかった。また、貿易にともなう物価上昇や当時の政争は、⑨社会不安を増大させた。

明治時代には⑩産業革命が起こり、幕末以来大半が輸入品であった綿糸の国内生産量が増加していった。その背景には、1880年代前半に b 大藏卿が始めた財政政策があった。その政策でデフレーションが進行したことで地租が実質的に増徴され、自作農のなかには小作農に転落するものもいた。小作農家などの子女は製糸・紡績工場の女工として、産業革命の進展を支えた。

問1 空欄 a b に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。(41)

- ① a 糸割符制度 b 大隈重信
- ② a 糸割符制度 b 松方正義
- ③ a 五品江戸廻送令 b 大隈重信
- ④ a 五品江戸廻送令 b 松方正義

問2 下線部⑪に関連して、幕末期の欧米諸国との貿易において、最終的に最も取引額が多かった貿易港の所在地として正しいものを、次の地図中の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。(42)



問3 下線部⑫に関連して、幕末期の社会について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。(43)

- ① 「ええじゃないか」の集団乱舞が発生した。
- ② 天理教など、のちに復古神道とよばれる宗教が普及した。
- ③ 困窮した農民たちによる、世直し一揆が頻発した。
- ④ 多くの人々が集団で伊勢神宮に参拝する、御蔭参りが流行した。

問4 下線部⑬に関連して、明治時代の繊維産業に関して述べた次の文甲・乙と、それに該当する語句 a～d との組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。(44)

甲 この人物が中心となって、大阪紡績会社が設立された。  
乙 この人物は、国産力織機を考案した。

- a 渋沢栄一 b 岩崎弥太郎
- c 前島密 d 豊田佐吉

- ① 甲 a 乙 c ② 甲 a 乙 d
- ③ 甲 b 乙 c ④ 甲 b 乙 d

B 明治時代末期、日本経済は不況に苦しんでいた。そうしたなか、第一次世界大戦が勃発すると、⑭日本に未曾有の好景気がもたらされた。しかし、物価の上昇が賃金の上昇を上回るなかで労働問題が高揚し、鈴木文治が組織した c が労働組合の全国組織へと発展した。

また、世界的な民主主義の風潮もあって、大正時代には、⑮女性解放運動や、d らが日本農民組合を結成して支援した小作争議など、社会運動が多方面に展開された。

問5 空欄 c d に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。(45)

- ① c 労働組合期成会 d 賀川豊彦
- ② c 労働組合期成会 d 幸徳秋水
- ③ c 友愛会 d 賀川豊彦
- ④ c 友愛会 d 幸徳秋水

問6 下線部⑯に関連して、この時期の産業の動向などに関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。(46)

- ① 日本国内で、工場経営を行う在華紡が増加した。
- ② 八幡製鉄所の拡張や、鞍山製鉄所の設立などが行われた。
- ③ アメリカからの輸入が途絶えたため、化学工業が勃興した。
- ④ 電力から蒸気力へ、工業原動力の転換が進んだ。

問7 下線部⑰に関連して、大正時代の女性の運動について述べた次の文 X・Y の正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。(47)

X 婦人団体が大政翼賛会の傘下に入り、国策に協力した。  
Y 市川房枝らによって、新婦人協会が設立された。

- ① X 正 Y 正 ② X 正 Y 誤
- ③ X 誤 Y 正 ④ X 誤 Y 誤

C 昭和時代初期、日本では⑰金融恐慌が発生し、経済不安が広がった。この経済危機に対し、政府はモラトリアムを発令するとともに、日本銀行からの巨額融資を実施した。日本はこうして危機を乗り切ったものの、まもなく⑱世界恐慌が発生した。これ以降、日本は軍国主義の道を歩んでいき、最終的に太平洋戦争へと至り、敗戦した。

戦後の日本は、朝鮮戦争にともなう特需を足掛かりに経済復興し、輸出に有利な固定相場制にも助けられて高度経済成長期を迎えた。しかし、⑲第1次石油危機が起こると日本経済は大きな打撃を受け、高度経済成長は終焉した。

問 8 下線部⑧について述べた次の文 X・Y の正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。 48

X 井上準之助蔵相が実施した、金輸出解禁が原因であった。  
Y 台湾銀行を救済する、緊急勅令案が元老院に否決された。

- ① X 正 Y 正      ② X 正 Y 誤  
③ X 誤 Y 正      ④ X 誤 Y 誤

問 9 下線部⑨に関して、恐慌からの脱出のために行われた政策などについて述べた次の文甲・乙と、それに該当する語句 a～d との組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。 49

甲 この国は、ニューディール政策で雇用の拡大などをはかった。  
乙 この国は、植民地や自治領以外の国からの輸入に対して高い関税をかけた。

- a アメリカ      b フランス  
c イギリス      d ドイツ

- ① 甲 a 乙 c      ② 甲 a 乙 d  
③ 甲 b 乙 c      ④ 甲 b 乙 d

問 10 下線部⑩に関連して、第 1 次石油危機や、その時期の田中角栄内閣の政策について述べた次の文 a～d について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。 50

- a 第 1 次石油危機は、アラブ諸国がイスラエル建国に反発したことで起こったパレスチナ戦争中に始まった。  
b 第 1 次石油危機は、アラブ諸国とイスラエルの間で起こった第 4 次中東戦争中に始まった。  
c 田中角栄内閣は、傾斜生産方式を採用した。  
d 田中角栄内閣は、「日本列島改造論」を掲げた。

- ① a・c      ② a・d      ③ b・c      ④ b・d